

<ブバルジアモザイク病>



葉のモザイク症状



葉の退緑斑紋



株のわい化症状

<ブーバルジア・モザイク疫病>

病原ウイルス：キュウリモザイクウイルス Cucumber mosaic virus (CMV)

1. 症 状

上葉では、モザイク、退緑斑紋、輪紋、線状紋、葉脈透化、縮葉などの症状を示す。症状が激しいと、株のわい化を生ずる。病徴は高温期にマスキングされる傾向にある。

2. 生 態

病原ウイルスの宿主範囲は非常に広く、アブラムシにより、非永続的に伝搬される。保毒株から採穂した苗を使用すると、病株になる。

3. 防 除

- 1) 発病株を除去する。
- 2) 保毒株から採穂しない。
- 3) ウイルスフリー苗を使用する。
- 4) アブラムシを防除する。

4. 記 事

本病は1980年頃から大島特産のブーバルジアに多発生したが、ウイルスフリー苗が導入され被害が軽減した。